

PTA通信



蕪崎工業高等学校
http://www.nirasakith.kai.ed.jp/
E-Mail: info@nirasakith.kai.ed.jp

2012. 2.10 Vol.8

《編集・刊行》
蕪崎工業高等学校PTA
《発行責任者》
PTA会長 河西 徹

NewsPaper of PTA (Parent-Teacher Association) NIRASAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL

『絆』



もうすぐ蕪崎工業高校を卒業していく3年生、ひとまわりも、ふたまわりも成長して進級する1・2年生。それぞれが夢に向かって一生懸命努力をしています。

東日本大震災で、社会的にも経済的にも大きな影響を受けましたが、人と人の絆、国と国の絆がより深くなったのではないのでしょうか。

「よき技術者となる前によき人間となれ」の教育信条は、「和」を築く礎です。相手に対して感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。また、「どうせ無理」と最初から諦めず、「感動＝

蕪崎工業高等学校
PTA会長 河西 徹

Can do」で挑戦し、自己研鑽に励んで、これからの日本を元気にしてほしいものです。そして、蕪崎工業高校の教育信条を基に「絆」を大切にしていって、社会貢献をしてもらいたいです。

今年も厳しい社会情勢の中、学校・地域・PTAの連携した取り組み、活動にご理解ご協力をいただきました保護者の皆さま、および関係各位に感謝申し上げます。平成24年度は、蕪崎工業高校創立50周年という節目の年でもあります。保護者の皆さままた関係各位のご協力をいただき、ぜひとも成功させようではありませんか。

これからも、楽しいPTA活動を通して、「よき人づくり」のために、皆さまのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

親子で知っておきたい お金に関わる問題 ～ PTA研修会 ～

広報委員 友村みゆき

6月25日、山梨県金融広報委員会・金融広報アドバイザーの樋口勝彦先生を講師に招き、PTA研修会が催されました。お金に関するトラブルのお話を改めてお聞きし、かなりの衝撃を受けました。大人でもだまされる人が多く、できるだけ若年から知る機会が多ければ多いほど、被害が減っていくのではないかと思います。

また、正社員とフリーターでは、生涯年収の額が大変違うことなどを学びました。私の知人も、都内の大手企業を6次試験まで受け、やっと採用されました。しかし、研修2日目にして退職という選択をしました。大学院卒であっても判断を誤ってしまうという現状があるようです。

この研修会を通し、さまざまなお金に関する問題について学ぶことができ、本当に有意義な時間



になりました。

樋口先生は、中学校や高校で講義をなさっているようですが、これからも益々のご活躍を期待しています。

■ 特集 ■ ■ ■ 意見交換から～行動へ ■ ■ ■

23年度「蕪工活性化合同会議」の報告

PTAの副会長という役をいただき

PTA副会長 麻植 雅陽

PTA副会長という役をいただき、よく状況が分からないままに1年が過ぎようとしています。今まで数多くの活動を行ってきました。なかでも蕪工活性化合同会議は、蕪工の将来を生徒・教員・PTAの三者で話し合う場となっています。

活性化とは、現状に新たな刺激を与え、更に前進することだと思います。これは保護者が学校に多く関わられる蕪工ならではの会議だと思います。

2011年の世相を表す漢字は「絆」です。蕪工でも生徒や先生方との絆を大切にされた様々な行事について、この会議で話し合われています。

初冬に行われるあいさつ運動は、近所付き合いが希薄な昨今にあって、とても大事なことです。生徒達も以前に比べ、恥ずかしがりながらもあいさつを返してくれます。これも、今までコツコツと続けてきた成果です。

また、チャレンジ50という遅刻ゼロ運動は、社会人になっても時間を守るという大切な習慣を身につけ

る良い機会だと思います。これは、学校に任せるだけではなく保護者も朝子供を元気に送り出すという形で、三者が一丸となって取り組んできた成果が表れている取り組みです。

そして、蕪工祭や甘利山登山強歩大会では、豚汁作りやバザー等、魅力ある行事になるように蕪工活性化会議で話し合いました。特にバザーでは多くのご家庭からのご協力もあり、今までにない売り上げとなりました。

そして、今年は生徒用ロッカーの再利用という新たな試みが提案されました。卒業生に協力してもらい学校にロッカーを残し、それを新入生が使えるようにしました。先輩から後輩へ想いだけでなく、使える物は再利用する、これもまた新たな絆と呼べるものだと思います。

末筆ながら保護者の方々にはこれまで以上に蕪工のPTA活動に対しておご理解とご協力をよろしくお願い致します。



甘利山登山強歩大会

保健委員長 村松 武



11月2日、蕪崎工業高校恒例の、辛い険しい甘利山登山強歩大会が実施されました。今年の甘利山は、昨年より寒さが厳しくなく、まずまずのコンディションでした。PTA役員、保護者の方々も、スタート前に各ポイントにて生徒の到着を待っていました。トップランナーは、昨年を上回る好タイムで山を折り返して舞い降りて行きました。3年生は最後の強歩大会、ある生徒は1分1秒でも好タイムを狙い、またある生徒は3年間苦しめられた甘利山を思ったことでしょう。一生懸命走っている生徒に「がんばれ、大丈夫か」と声を掛けると、ほとんどの生徒が「はい、大丈夫です」と返事を返してくれました。私は3年生のPTA役員で、つい緑ジャージを見ると声が大きくなってしまいました。この3月には学校を卒業し、みんな違った道を歩んでいくことになるでしょう。これから先、試練がたちはだかった時にも、甘利山を登ったことを思い出してほしいと思います。

“東日本大震災義援金活動”

前PTA会長 荻原まゆみ

3・11、それは突如として日本を襲いました。被災地東北では、たくさんの方の命が奪われたり、家屋が津波で流されたりして、我が子と同じ高校生も学校へ通えなくなりました。むごい天災です。こんな大惨事の中、同じ高校生の子を持つ親として、どうすれば少しでも被災者の役に立てるのか？

ということ考えた時、救援募金をしようという話が出ました。では、いつ集めるのか？PTA正副会長会議で話し合い、大勢の保護者が来校する日に決めました。67,497円というたくさんのお金が集まりました。学校に関係する多くの方々の温かい真心を感じられました。本当にご協力ありがとうございました。



特集 意見交換から～行動へ

23年度「蕪工活性化合同会議」の報告

PTAの副会長という役をいただき

PTA副会長 麻植 雅陽

PTA副会長という役をいただき、よく状況が分からないままに1年が過ぎようとしています。今まで数多くの活動を行ってきました。なかでも蕪工活性化合同会議は、蕪工の将来を生徒・教員・PTAの三者で話し合う場となっています。

活性化とは、現状に新たな刺激を与え、更に前進することだと思います。これは保護者が学校に多く関われる蕪工ならではの会議だと思います。

2011年の世相を表す漢字は「絆」です。蕪工でも生徒や先生方との絆を大切にされた様々な行事について、この会議で話し合われています。

初冬に行われるあいさつ運動は、近所付き合いが希薄な昨今にあって、とても大事なことです。生徒達も以前に比べ、恥ずかしがりながらもあいさつを返してくれます。これも、今までコツコツと続けてきた成果です。

また、チャレンジ50という遅刻ゼロ運動は、社会人になっても時間を守るという大切な習慣を身につけ

る良い機会だと思います。これは、学校に任せるだけではなく保護者も朝子供を元気に送り出すという形で、三者が一丸となって取り組んできた成果が表れている取り組みです。

そして、蕪工祭や甘利山登山強歩大会では、豚汁作りやバザー等、魅力ある行事になるように蕪工活性化会議で話し合いました。特にバザーでは多くのご家庭からのご協力もあり、今までにない売り上げとなりました。

そして、今年は生徒用ロッカーの再利用という新たな試みが提案されました。卒業生に協力してもらい学校にロッカーを残し、それを新入生が使えるようにしました。先輩から後輩へ想いだけでなく、使える物は再利用する、これもまた新たな絆と呼べるものだと思います。

末筆ながら保護者の方々にはこれまで以上に蕪工のPTA活動に対しご理解とご協力をよろしくお願い致します。



甘利山登山強歩大会

保健委員長 村松 武



11月2日、蕪工工業高校恒例の、辛く険しい甘利山登山強歩大会が実施されました。今年の甘利山は、昨年より寒さが厳しくなく、まずまずのコンディションでした。PTA役員、保護者の方々も、スタート前に各ポイントにて生徒の到着を待っていました。トップランナーは、昨年を上回る好タイムで山を折り返して舞い降りて行きました。3年生は最後の強歩大会、ある生徒は1分1秒でも好タイムを狙い、またある生徒は3年間苦しめられた甘利山を思ったことでしょうか。一生懸命走っている生徒に「がんばれ、大丈夫か」と声を掛けると、ほとんどの生徒が「はい、大丈夫です」と返事を返してくれました。私は3年生のPTA役員で、つい緑ジャージを見ると声が大きくなってしまいました。この3月には学校を卒業し、みんな違った道を歩いていくことになるでしょう。これから先、試練がたちはだかった時にも、甘利山を登ったことを思い出してほしいと思います。

“東日本大震災義援金活動”


前PTA会長 荻原まゆみ

3・11、それは突如として日本を襲いました。被災地東北では、たくさんの方の命が奪われたり、家屋が津波で流されたりして、我が子と同じ高校生も学校へ通えなくなりました。むごい天災です。こんな大惨事の中、同じ高校生の子を持つ親として、どうすれば少しでも被災者の役に立てるのか？

ということ考えた時、救援募金をしようという話が出ました。では、いつ集めるのか？PTA正副会長会議で話し合い、大勢の保護者が来校する日に決めました。67,497円というたくさんのお金が集まりました。学校に関係する多くの方々の温かい真心を感じられました。本当に協力ありがとうございました。



PTA活動報告 (抜粋)

- 4月 22日 東日本大震災救援募金活動
 ~30日 募金合計 67,497円は県高P連を通して被災地高P連へ。
 4月 22日(金) PTA役員合同会議 15,275円
 4月 29日(金) PTA総会 26,621円
 4月 29日(金) PTA懇親会 14,000円
 4月 30日(土) サッカー応援 11,601円
- 29日 PTA総会 各学年部会 授業参観 クラス懇談会
 多数の保護者が参加。昨年度事業・決算報告等、また今年度新役員や事業計画・予算の各案件等を全て承認していただきました。
- 5月 20日 県高P連定期総会 (笛吹市スコレーセンター)
 27日 クラブ後援会総会 (本校視聴覚室)
- 6月 9日 第1回蕪工活性化合同会議
 本校を活性化し、地域に親しまれる学校にすることを目的に「生徒代表」「PTA役員」「教員代表」の3者が一同に会して、話し合いを行いました。
 蕪工の未来像や今抱えている問題の提起・意見交換で有意義な会となり、今後の継続開催を決定しました。
- 12日 蕪崎工業高校同窓会総会 (本校文化ホール)
 25日 PTA研修会 (本校文化ホール)
 「親子で知っておきたいお金に関わる問題」をテーマに金融広報アドバイザーの樋口勝彦先生から講演がありました。82名が参加。
 何気ない生活の中に、気軽な金銭の貸借・不要なカード契約・甘い不労所得勧誘など、多くの危険が存在します。知らなかったことを再認識し、専門用語や外来語などのアレルギーを払拭し、常に問題意識を持ち、回避や有事の解決に役立てたい。
- 7月 1日 交通事故違反03ヶ月連
 ~30日 期間中の火・木曜日に生徒指導部の保護者にご協力を頂き、通学路での交通マナー・安全指導を教員と一緒に行いました。登校の様子を見ることができ有意義でした。
- 7日 第57回関東地区高等学校PTA連合会大会 (栃木大会)
 ~8日 「子どもたちの輝く未来は大人の行動から」をメインテーマに宇都宮市にて開催されました。本校からは相原校長先生と鈴木PTA副会長の計4名が参加しました。
- 8月 24日 第61回全国高等学校PTA連合会大会 (北海道大会)
 ~26日 本校からは、相原校長先生と河西PTA会長の計3名が参加。大会テーマ「いのち 輝け！～人・夢・愛 ひたむきに頑張る君たちを応援したい～」で札幌市内の北海道立総合体育館をメイン会場として活発な意見・情報交換が行われました。
- 9月 12日 第2回蕪工活性化合同会議
 今年度の新規規程組は「生徒用ロッカーの再利用」となりました。
- 10月 6日 PTA役員合同会議
 蕪工祭のPTA餅つき・PTA合唱団と甘利山登山強歩大会の豚汁作成及びPTAあいさつ運動の打合せを行いました。
- 14日 PTA餅つき (蕪工祭1日目)
 早朝から38名の保護者の協力により、もち米70Kg (15臼) 700食分を生徒、先生方や来校者の皆さんに食べて頂きました。開会式のイベントとして、ステージ前で3臼を相原校長先生、河西PTA会長、清水武則クラブ後援会長を先頭に各クラスの代表者が杵を振りまわしました。餅つき初体験の生徒が多く女子も頑張り、満面の笑みがこぼれていました。
- 15日 PTA合唱団 (蕪工祭1日目)
 保護者と教職員合同で結成し、全校生徒の前で歌声を披露するために夜遅くまで練習をしました。今年の発表曲の「校歌」を披露し大きな喝采を浴びました。
- PTAバザー (蕪工祭2日目)
 45名の保護者により有休品販売店が経営されました。開店前から行列が出来る程の盛況で、保護者の皆様よりご協力いただきました遊休品約950点は開店後1時間で完売しました。今年の売り上げは大幅に増え121,340円でした。改めて皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。
- 20日 学校保健委員会
 「適切な歯磨き習慣の定着と口腔内の健康管理」をテーマに、学校歯科医の市川寛子先生の講話があり、河西PTA会長ほか保健体育委員7名の参加しました。
- 11月 2日 甘利山登山強歩大会 (豚汁)
 53名の保護者の御協力により、700食分の豚汁を作りました。ゴールした生徒や教職員に振る舞って大会を支援かつ盛り上げました。また、保健体育委員21名による監察・巡視を樫池と甘利山展望台で行いました。天候にも恵まれ、完走率90%超が目立ちました。
- 7日 PTAあいさつ運動
 ~11日 朝晩の寒さを感じる中、各クラス委員長と生徒指導委員の延べ53名にて実施。朝の元気な声「おはようございま〜す！」で一日が始まります。
- 12月 2日 PTA広報委員会
 当PTA通信Vol8発行に向けての編集会議を8名で実施しました。
- 23日 高P連研修会 (文学館)
 栄陽子留学研究所の栄陽子所長による「教育の世界もグローバル化 あなたの子どもはどうか？」の講演会がありました。本校からはPTA役員中心に5名が参加しました。
- 1月 25日 第3回蕪工活性化合同会議
 重点課題実施の反省と次年度への課題提起がされました。



《PTA定期総会》
多数の会員の参加のもと盛況に…。



《PTA研修会》
多数参加、皆さん真剣に聞き入って…。



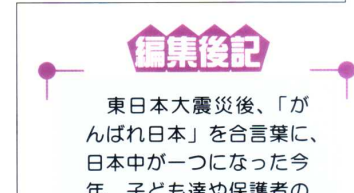
《交通安全指導》
安全運転マナーは…。



《全国高P連大会》
会場にて…。



《蕪工祭》
PTA合唱団の心を込めた合唱風景



《甘利山登山強歩大会》

編集後記

東日本大震災後、「がんばれ日本」を合言葉に、日本中が一つになった今年、子ども達や保護者の皆さまと時間を共にすることができ、ここにPTA通信を発行できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

PTA広報部長 相澤千恵子